



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年2月14日

東

上場会社名 株式会社インターネットインフィニティ 上場取引所

コード番号 6545 URL https://iif.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 別宮圭一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 星野健治 (TEL) 03-6779-4777

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第3四半期の業績 (2019年4月1日~2019年12月31日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	2,678	7.0	186	604.5	187	446.8	122	605.2
2019年3月期第3四半期	2,504	2.0	26	△84.6	34	△79.6	17	△84.3
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年3月期第3四半期	23.05		22.28					
2019年3月期第3四半期	3.29		3.16					

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	1,897	848	44.7
2019年3月期	1,906	816	42.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 848百万円 2019年3月期 816百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,502	4.2	170	84.4	186	79.4	120	87.2	22.53

注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当第3四半期累計期間における自己株式の取得及び自己株式の処分による影響を考慮して算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年3月期3Q	5,427,771株	2019年3月期	5,413,371株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2020年3月期3Q	107,203株	2019年3月期	20株
------------	----------	----------	-----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年3月期3Q	5,328,781株	2019年3月期3Q	5,298,027株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用環境や所得水準の改善などを背景に、設備投資の増加や個人消費に持ち直しの動きが見られるなど緩やかな景気回復が続いた一方で、世界経済においては、米中貿易摩擦の激化や中国経済の減速、英国のEU離脱問題などによる下振れリスクが懸念され、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社の事業に関わる高齢社会に関連する市場は、高齢者の増加と共に年々拡大する傾向にあり、ヘルスケアサービスの需要はますます高まりつつあります。また、健康寿命の延伸や、社会保障費の増大に歯止めをかけることなどが喫緊の課題として認識されており、高齢者の健康維持・向上に重点をおいた短時間リハビリ型通所介護サービス(デイサービス)の需要は今後も高まることが予想されます。その一方、3年毎に介護報酬の改定が行われており、介護保険制度を安定的に持続させていくための取り組みが進められております。

このような状況の中、当社は「健康な未来」というコーポレートスローガンのもと、「創意革新と挑戦による、超高齢社会における課題解決」をミッションと位置づけ、短時間リハビリ型通所介護サービス(デイサービス)「レコードブック」店舗ネットワークの拡大及びケアマネジャー会員ネットワーク「ケアマネジメント・オンライン」を活用したサービスの拡大に注力いたしました。レコードブック事業の全国展開及び将来の事業拡大等を着実に加速させていくため、フランチャイズ本部機能を継続的に強化しているほか、社員の「働き方改革」等を推進することによって優秀な人材を確保するための取り組みを積極的に行っております。また、政府の介護離職ゼロに向けた取り組みを受けて、Webソリューション事業における仕事と介護の両立支援事業を引き続き積極展開するとともに、シルバーマーケティング支援については、メディカルソリューションの分野での本格展開を目指し、新サービスの開発、強化を進めております。

以上の結果、売上高は2,678,787千円(前年同四半期比7.0%増)、営業利益は186,736千円(前年同四半期比604.5%増)、経常利益は187,968千円(前年同四半期比446.8%増)、四半期純利益は122,832千円(前年同四半期比605.2%増)となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりです。

## (ヘルスケアソリューション事業)

レコードブック事業におきましては、当第3四半期累計期間において短時間リハビリ型通所介護サービス(デイサービス)「レコードブック」のフランチャイズが20ヵ所増加しております。その結果、直営店が27ヵ所、フランチャイズが137ヵ所となりました。

そのほか、名古屋鉄道株式会社との合弁会社である株式会社名鉄ライフサポートが愛知県を中心に展開する「名鉄レコードブック」は、当第3四半期会計期間末において19ヵ所となっております。

これにより、「レコードブック・ブランド」の店舗が合計で183店舗(前年同四半期末は144店舗)となりました。

これらの店舗増加や既存店舗の稼働率向上等に伴う収入の増加に加え、2018年4月からの介護報酬改定の影響を受けて減少していた顧客単価につきましても、前期下期より進めている新たな加算の取得により増加に転じるなど、売上高、営業利益ともにレコードブック事業全体として大きく増加いたしました。

また、Webソリューション事業におきましては、本格展開に向け新サービスの開発を進めているメディカルソリューション分野での案件獲得が始まり、売上高はやや増加しております。

この結果、売上高は1,753,989千円(前年同四半期比13.8%増)、営業利益は303,978千円(前年同四半期比100.8%増)となりました。

## (在宅サービス事業)

介護業界では人材不足により採用難が深刻化しております。当社においても有資格者の減員などによるサービス提供量減少により売上高は減少いたしました。既存の人員で効率的な運営を行ったことにより、前年同四半期とほぼ同水準の利益を維持することができました。

この結果、売上高は924,798千円(前年同四半期比4.0%減)、営業利益は270,354千円(前年同四半期比1.8%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は1,059,637千円となり、前事業年度末に比べ52,676千円減少いたしました。その主な要因は、売掛金が16,680千円、貯蔵品が11,191千円増加した一方、現金及び預金が85,410千円減少したことによるものです。

固定資産は838,157千円となり、前事業年度末に比べ43,843千円増加いたしました。その主な要因は、「レコードブック」の店舗増加等に伴い建物(純額)が43,147千円増加したことによるものです。

この結果、当第3四半期会計期間末における資産合計は1,897,794千円となり、前事業年度末に比べ8,833千円減少しました。

### (負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は856,179千円となり、前事業年度末に比べ2,821千円増加いたしました。その主な要因は、短期借入金が170,000千円、未払法人税等が39,294千円増加した一方、預り金が133,356千円、賞与引当金が44,329千円、1年内返済長期借入金が15,354千円減少したことによるものです。

固定負債は192,841千円となり、前事業年度末に比べ44,148千円減少いたしました。その主な要因は、長期借入金が37,132千円減少したことによるものです。

この結果、当第3四半期会計期間末における負債合計は1,049,020千円となり、前事業年度末に比べ41,326千円減少しました。

### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は848,774千円となり、前事業年度末に比べ32,493千円増加いたしました。その主な要因は、四半期純利益の計上による増加122,832千円及び、譲渡制限付株式報酬としての自己株式処分による増加7,521千円、自己株式取得による減少99,960千円によるものです。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、当第3四半期累計期間の業績及び今後の動向等を勘案して検討した結果、2019年5月15日の「2019年3月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。なお、業績予想値は、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	429,944	344,533
売掛金	581,804	598,484
貯蔵品	15,575	26,766
その他	86,243	92,086
貸倒引当金	△1,254	△2,234
流動資産合計	1,112,313	1,059,637
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	440,225	483,373
その他(純額)	64,720	54,004
有形固定資産合計	504,945	537,377
無形固定資産	23,651	22,751
投資その他の資産	265,716	278,028
固定資産合計	794,314	838,157
資産合計	1,906,628	1,897,794
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	9,916	9,279
短期借入金	130,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	172,625	157,271
未払法人税等	3,987	43,281
預り金	237,624	104,267
賞与引当金	72,754	28,425
その他	226,449	213,654
流動負債合計	853,357	856,179
固定負債		
長期借入金	141,111	103,979
資産除去債務	39,372	41,968
その他	56,506	46,893
固定負債合計	236,989	192,841
負債合計	1,090,347	1,049,020
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	250,992	252,302
資本剰余金	235,992	237,302
利益剰余金	329,360	451,671
自己株式	△63	△92,502
株主資本合計	816,281	848,774
純資産合計	816,281	848,774
負債純資産合計	1,906,628	1,897,794

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	2,504,463	2,678,787
売上原価	1,716,472	1,747,480
売上総利益	787,990	931,307
販売費及び一般管理費	761,483	744,570
営業利益	26,507	186,736
営業外収益		
事業譲渡益	11,024	4,243
助成金収入	2,137	2,117
その他	1,918	3,305
営業外収益合計	15,080	9,666
営業外費用		
支払利息	7,149	7,888
その他	63	546
営業外費用合計	7,213	8,434
経常利益	34,375	187,968
特別損失		
減損損失	—	2,655
特別損失合計	—	2,655
税引前四半期純利益	34,375	185,313
法人税、住民税及び事業税	9,341	58,559
法人税等調整額	7,616	3,920
法人税等合計	16,957	62,480
四半期純利益	17,417	122,832

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年5月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式115,900株の取得を行いました。また、2019年6月27日開催の取締役会の決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式8,717株の処分を行いました。これらの結果、当第3四半期会計期間末における自己株式の残高は前事業年度末に比べ92,438千円増加し、92,502千円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算書 計上額 (注) 2
	ヘルスケアソリューション事業	在宅サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,541,631	962,831	2,504,463	—	2,504,463
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,541,631	962,831	2,504,463	—	2,504,463
セグメント利益	151,407	275,253	426,661	△400,153	26,507

(注) 1. セグメント利益の「調整額」△400,153千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算書 計上額 (注) 2
	ヘルスケアソリューション事業	在宅サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,753,989	924,798	2,678,787	—	2,678,787
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,753,989	924,798	2,678,787	—	2,678,787
セグメント利益	303,978	270,354	574,333	△387,596	186,736

(注) 1. セグメント利益の「調整額」△387,596千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。